

振興局だよりだよ！



武四郎まつり
マスコット
キャラクター
「たけちゃん」

みくも

第31号



【2012. 7. 1発行】

「“ほっと”ギャラリー」7月展示作品のご案内

★「松浦武四郎記念館友の会」展

7月2日(月)～7月30日(月)まで 8時30分～17時15分

「松浦武四郎記念館友の会」の昨年の活動内容を紹介するとともに、武四郎翁にちなんで小野江小学校校庭に植樹されたエゾヤマザクラの写真などを展示します。

※ 都合により、展示内容などを変更する場合があります。ご了承ください。

【問い合わせ 三雲振興局 地域振興課 電話56-7905】

人権研修会を開催します！

「児童虐待の現状と課題」～子どもたちのSOSに気づいていますか～

近年、新聞やテレビなどで児童に対する悲惨な虐待のニュースが相次いでいます。

「児童虐待」について、わたしたちはどこまで理解しているのでしょうか？

わたしたち大人が虐待のサインを見逃さず地域でできることを考えていく必要があります。

そこで、三重県における虐待の現状と課題を事例を交えながら、分かりやすくご講演いただきます。

とき 7月5日(木) 19時～20時30分(予定)

ところ 三雲公民館 2階研修室

講師 鈴木 聡^{あきら}さん(三重県児童相談センター 中勢児童相談所長)

主催 三雲地域人権教育推進協議会

【問い合わせ 三雲教育事務所 電話 56-7916】



住民協議会 7月行事のご案内

≪小野江まちづくり協議会≫

7月 7日(土) 七夕まつり

14日(土) 武四郎クリーン作戦

≪鶴まちづくり協議会≫

7月15日(日) 虫送り

28日(土) 花いっぱい運動

29日(日) 講演会と人形劇



≪米ノ庄住民協議会≫

7月28日(土) 米ノ庄地区夏祭り

【問い合わせ 三雲振興局 地域振興課 電話56-7905】

あおかわ

碧川の清掃を行います！

ハマボウの花が咲く時期を前に、川の草刈りおよび清掃作業を行います。

当日、ご協力いただけるかたは、帽子・長靴など安全な作業ができる服装でご参加ください。

とき 7月14日(土) 8時～10時(予定)

※ 小雨決行・荒天時は7月15日(日)

ところ ハートフルみくも付近碧川右岸堤防

主催 碧川周辺地域の自然と環境を守る会

【問い合わせ 三雲振興局 地域振興課 電話56-7905】

松浦武四郎シンポジウム 第1弾

— 松浦武四郎誕生地の活用と整備を考える —

昭和37年（1962）、三雲村は松浦武四郎の実家を「松浦武四郎誕生地」として史跡に指定しました。史跡指定から50年を迎えた今年、誕生地を活用するとともに、文化財として保護するための整備を行うにあたり、皆さんに誕生地のことを知っていただき、活用と整備について考えるシンポジウムを開催します。

とき 7月8日（日）13時～16時

ところ 松阪市産業振興センター 3階（松阪市本町2176）

内容 ○松浦武四郎誕生地の概要と整備計画案 ○誕生地を活かすアイデア

○先人の記念館活動と各地の顕彰活動

竹川竹斎（射和町）、大谷嘉兵衛（飯高町）、佐佐木信綱（鈴鹿市）、
松浦武四郎（小野江町）

○誕生地を語る座談会 ○質疑応答と意見交流

○北海道からのビデオレター



松浦武四郎誕生地

お誘い合わせのうえ、
ぜひご来場ください！



【問い合わせ 松浦武四郎記念館 電話56-6847】

鵠地区見回り隊が表彰を受けられました



「鵠地区見回り隊」の皆さん

5月17日（木）、『鵠地区見回り隊』の皆さんが、防犯活動に努められている功績が認められ、三重県防犯協会連合会長、三重県警察本部長より表彰されました。

『鵠地区見回り隊』の皆さんは、毎日鵠小学校の登下校時に子どもたちとともに歩き、通学時の保護・誘導や校区内のパトロールをするなど、日ごろから子どもたちを見守り、地域の防犯活動に努められています。

受賞、おめでとうございます！

また、同隊では一緒に活動できるかたを随時募集しております。申込・お問い合わせは下記までお願いいたします。

【申込・問い合わせ 鵠公民館 電話56-6025】

消防車庫などの周辺は、駐車禁止です！

道路交通法では、消火栓・防火水槽・プール・池など消防水利として指定されている施設や、消防用機械器具の置場（消防自動車や消防団積載車の車庫など）から5m以内の部分は駐車が禁止されています。

違法な駐車は、一刻を争う消火活動の妨げとなります。

皆様のご理解とご協力をお願いします。



【問い合わせ 松阪中消防署 三雲分署 電話56-2536 / 三雲振興局 地域振興課 電話56-7905】

今年もハマボウが見ごろを迎えます

開催します！「夏の碧川周辺地域の写真撮影会」

あおかわ



写真を通して碧川周辺の良さ、自然環境の美しさを再発見していただき、その輝きを広く情報発信していこうと、「ハマボウ」の美しい時期に合わせて「夏の碧川周辺地域の写真撮影会」を開催し作品を募集します。

当日は手作りの「いかだ」を碧川に浮かべ、自然の中で遊ぶ楽しさを体で感じていただこうと子どもたちを対象に「いかだ乗り」を写真撮影会とあわせて開催します。

また、木舟「あおかわ丸」も登場し、舟上からの撮影が可能です。日ごろ体験できないアングルでの撮影をお楽しみください。

なお、作品については秋に開催予定の「碧川周辺地域の写真撮影会」終了後に募集予定です。ぜひ、ご参加ください。

とき 7月21日(土) 9時~11時 ※小雨決行・荒天時は7月22日(日)

ところ ハートフルみくも付近碧川右岸堤防

主催 碧川周辺地域の自然と環境を守る会

【問い合わせ 三雲振興局 地域振興課 電話56-7905】



ハマボウの花

ハマボウ：アオイ科の落葉低木。

三雲を流れる碧川に港があった江戸時代、海からの運航の目じるしとして植えられたのが始まりで、群生するハマボウの三重県最北限とされる。

夏になると黄色いハイビスカスに似た花を咲かせ、数百株の群生が私たちの目を楽しませてくれます。開花時期は7月中旬~8月上旬ごろ。



野菜を食べよう！

「簡単！うきうきクッキング」のご案内

成人が1日に必要な野菜の摂取量は350グラムといわれていますが、健康づくりアンケートの結果、野菜不足のかたは6割もみえました。

そこで、野菜をたくさん使った手軽に作れるレシピを、食生活改善推進員が紹介します。お子さんの野菜嫌い克服にも、きっと役立ちます！！



子どもにも大人気のビビンバを作ります

とき	ところ	申込み締切日
8月1日(水) 9時30分~12時	ハートフルみくも 保健福祉センター	7月23日(月)

食生活改善推進員は、食を通じた健康づくりのお手伝いをしているボランティアです

内容 ミニ講座と調理実習



「ビビンバ風ごはん、トマトのかきたまスープ」

対象 市内在住のかた ※定員 15人

持ち物 エプロン、三角巾、タオル、筆記用具



材料代 300円

その他 お子さま連れも可能です。申し込み時にお知らせください。



【申込・問い合わせ ハートフルみくも保健福祉センター 電話56-7211】

河川の水位情報がわかります

去年は3つの台風が上陸し、県内各地で甚大な被害が発生しました。

三雲地域では幸い大きな被害はなく、避難勧告・指示などは発令されませんでした。市内の他の地域では、避難勧告を発令した地域もありました。

避難勧告・指示の発令に至るまでには、災害対策本部では河川を中心にパトロールを行って状況を把握し、今後の降雨状況などを踏まえ、発令が必要かの判断を行っています。

また、三雲地域に4か所（舞出、小野江、雲出橋、笠松）観測所があり、河川管理者からの情報やインターネットを通じて水位を把握しています。この水位情報は、平成23年11月から地上デジタル放送（データ放送）により入手することができ、三雲地域4か所のうち、2か所（雲出橋、笠松）の情報を見ることができます。

NHK津放送局のチャンネルで、右図のようにデジタル対応リモコンにある@ボタンを押すと、『トップメニュー』に画面が切り替わり、「防災・くらしネット」を選択すると水位観測所の情報をご覧いただけます。

ただし、避難勧告・指示については、市の対策本部が発令するものであり、警戒水位などを超えたから避難勧告が出るとは限りません。市役所の情報や防災無線の情報を把握し、指示に従っていただくようお願いします。

④ボタン



リモコン例

『トップメニュー』画面の「防災・くらしネット」を選択する



水位観測所
 ■選択されている観測所はハイライトで表示
 ■アイコンの色は水位レベルに応じて【水色・碧・黄・桃・赤】に変化

雨量観測所は、地図上に円で位置を表示

雨量観測所
 ■雨量は強さに応じて4段階の青の濃淡で表示
 30ミリ～ ●
 15ミリ～ ●
 4ミリ～ ●
 1ミリ～ ●

■選択している観測所名と詳細情報を表示
 ■水位レベルに応じて▼が左右に移動
 ■水位レベルは左から「正常」「水防団待機」「はん濫注意」「避難判断」「はん濫危険」の5段階

■アイコンの波の高さが、水位レベルに応じて変化
 ■「はん濫注意水位」以上の場合、観測所名が黄色になり、選択すると観測所名が赤く変化
 ■水位観測所は、リモコンの「左・右」ボタンで切替
 ■他の地域を見る場合は、リモコンの「上・下」ボタンでページ切替

【問い合わせ 三雲振興局 地域振興課 電話56-7905】

夏の交通安全県民運動 7月11日～20日

松阪市内で交通事故が多発しています。
 一人ひとりが交通マナーを守り、交通安全を心がけましょう！